**＜研修展開案＞**

|  |  |
| --- | --- |
|

|  |
| --- |
| 本研修の目的：巨大地震や津波災害から命を守るため、地震の仕組みや早期避難の重要性など、正しい知識を身につけ、いざという時に迅速かつ的確な避難や状況に応じた行動をとることができるようにする。 |

【事前の準備】　・　ハザードマップの持参を周知（ハザードマップがない場合はスマートフォン等で「ハザードマップポータルサイト」を閲覧することでも対応可能）　・　『講座使用教材一覧』、『家庭の「備え」ハンドブック』、『ワークショップ参考資料』の準備（印刷）　・　講座とワークショップで使用するパワーポイントの確認【当日の準備】　・　講師使用パワーポイント入りのパソコンの用意（動画を再生するためにはインターネット接続が必要）　・　プロジェクター、スクリーン、スピーカー（人数が多い場合）の用意 |
|  | 時　　間（目安） | 内　　容 | 対　　応 | 備　　考 |
| **【講座：津波からいのちを守るために　～早期避難と呼び掛けの重要性～】※35～40分** |
|  | （35～40分） |  | ・講座パワーポイントに基づく説明（インターネット上で公開されている教材動画4種放映） | ・動画を放映するスライド（3/4/7/10） |
| **【ワークショップ：確認しよう！　～家庭における災害への備え～】※90分～120分** |
|  | 導　入スライド1～5（3分） | １．前時（講座）の振り返り　⇒　早期避難の重要性についての再確認 | ・受講者に発言を求めながら進める。（スライド2～4） |  |
| 展開①スライド6～11（12分） | ２．ハンドブックの説明３．「頭の備え」の説明・実践　(1) 避難場所・避難所の記入（8分）　(2) 避難をする際のポイントの説明（3分） | ・記入中は巡回指導（受講者のシート記入内容の確認・質疑対応）を行う。・ハザードマップがない場合はハザードマップポータルサイトを活用する。 | ・必要に応じて時間設定を検討 |
| 展開②スライド12～22（40分） | ４．「モノの備え」についての説明・実践(1) 広報誌ほっかいどう特集動画（9分）(2) 水平避難についての説明（5分）(3) 垂直避難についての説明（2分）(4) 「モノの備え」の記入（20分） | ・記入中は巡回指導（受講者のシート記入内容の確認・質疑対応）を行う。・市町村が発行している備蓄推奨品のリスト等があれば資料として活用。 | ・動画を放映するスライド（14）・必要に応じて時間設定を検討 |
| 展開③スライド23～24（8分） | ５．「住まいの備え」についての説明・実践 　(1) 家具固定と安全スペースづくりのポイントについての説明（2分）　(2) 「住まいの備え」の記入（5分） |  | ・必要に応じて時間設定を検討 |
| 共有・まとめスライド25-～28（25分） | ６．ハンドブックの共有（20分）７．ワークショップのまとめ　(1) 自助意識の向上　(2) ワークシートの活用・訓練等での実践について | ・共有中は巡回指導を行い、助言等を行う。・時間に余裕があれば共有内容の発表や本講座を通して学んだことの発表も検討。 | ・必要に応じて共有しやすいように配置変更を検討。 |